

平成 27 年度予算概要

平成 27 年度予算が市議会 3 月定例会で可決成立しましたので、その概要をお知らせします。

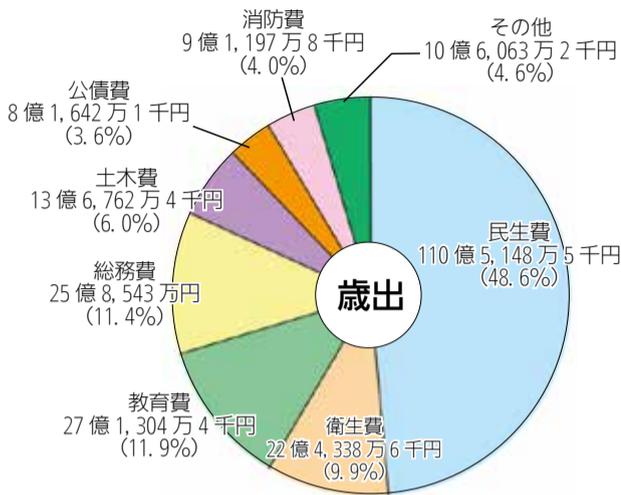
平成 27 年度の一般会計予算は 227 億 5,000 万円で、前年度に比べて 3.0% の増となりました。特別会計予算は 147 億 1,090 万 9 千円で、前年度に比べて 8.8% の増となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は 374 億 6,090 万 9 千円で、前年度に比べて 5.2% の増となりました。

【問合せ】財政課 ☎ 551・1534

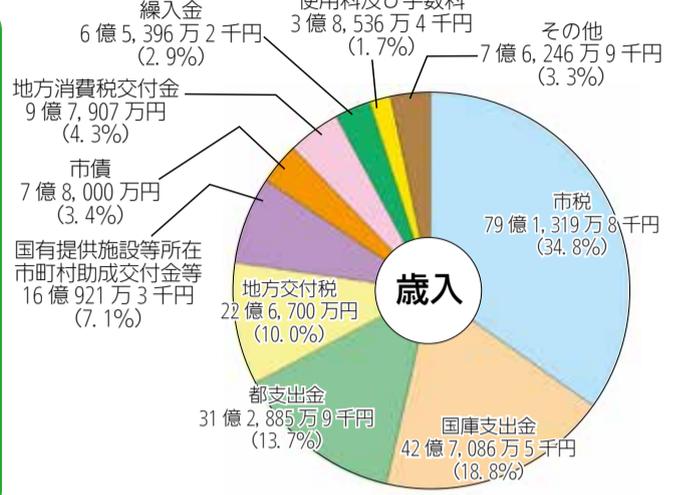
歳出

▼一般会計予算の構成 総額 227 億 5,000 万円▼

歳入



一般会計の内容
前年度と比較すると、歳入では主に地方交付税が減少する一方で、地方消費税交付金、国庫支出金、繰入金、市債は増加しています。歳出では起債残高の減により公債費が減少する一方、新公会計関連システムの導入経費の皆増や、もくせい会館建設事業費の増による総務費と、子ども・子育て支援新制度が始まることによる民生費、小中学校体育館非構造部材落下防止対策事業費の増などによる教育費が増加しています。



■議会費 0.4%増

議員報酬や議会運営経費などで、135 万 6 千円の増額となっています。

■総務費 17.0%増

主に行政運営に必要な経費で、新公会計関連システムの導入経費の皆増や、もくせい会館建設事業費の増などにより、3 億 7,635 万 6 千円の増額となっています。

■民生費 3.6%増

障害者・高齢者・児童福祉等のための経費で、子ども・子育て支援新制度が始まることに伴う経費の増や国民健康保険特別会計への繰出金の増などにより、3 億 8,108 万 5 千円の増額となっています。

■衛生費 3.3%減

保健衛生や環境対策、ごみ処理等のための経費で、福生病院組合運営費負担金や西多摩衛生組合負担金などの減少により、7,737 万 5 千円の

減額となっています。

■商工費 0.1%減

商工業の振興のための経費で、15 万 4 千円の減額となっています。

■土木費 0.6%減

道路建設や公園整備等、まちづくりのための経費で、防衛施設周辺道路整備事業費の増などがありますが、道路照明 LED 化事業費の皆減などにより、786 万 6 千円の減額となっています。

■消防費 0.3%増

消防事業の東京都への委託や災害対策のための経費で、241 万 9 千円の増額となっています。

■教育費 5.0%増

教育の充実や文化・スポーツの振興のための経費で、古民家取得事業費の皆減はありますが、小中学校体育館非構造部材落下防止対策事業費の増などにより、1 億 2,986 万 3 千円の増額となっています。

■市税 0.2%減

前年度に比べ、固定資産税が増えているものの市民税が減っており、全体では 1,832 万 6 千円の減額となっています。

■地方消費税交付金 29.4%増

消費税率の引き上げによる影響が引き続きあり、2 億 2,219 万円の増額となっています。

■地方交付税 11.5%減

すべての自治体が一定水準の行政サービスを行えるよう国が交付するもので、予算編成時における国の予算を参考に積もり、2 億 9,500 万円の減額となっています。

■国庫支出金 4.4%増

玉川上水緑地日光橋公園等整備事業補助金の皆減などがありますが、子どものための教育・保育給付費負

担金の増などにより、1 億 8,160 万 3 千円の増額となっています。

■都支出金 2.1%増

子どものための教育・保育給付費負担金の増などにより、6,460 万 5 千円の増額となっています。

■繰入金 24.4%増

基金の取崩しや特別会計からの収入で、都市施設整備基金からの繰入金の皆増などにより、1 億 2,829 万 5 千円の増額となっています。

■市債 95.0%増

防衛施設周辺道路整備事業債や小中学校体育館非構造部材落下防止対策事業債が皆増し、財源不足を補うための臨時財政対策債を増額したことにより、3 億 8,000 万円の増額となっています。

歳出 (性質別)

■扶助費 33.0%

生活保護、老人福祉、児童福祉などに支出される福祉的な経費です。

■人件費 17.1%

市長や市議会議員、市職員などに支払われる報酬、給料などの経費です。

■物件費 15.6%

消耗品や公共施設の光熱水費など、市の業務を行うために必要な経費や、委託料や使用料及び賃借料などです。

■補助費等 10.1%

一部事務組合や各種団体などに支出される負担金や補助金などの経費です。

■普通建設事業費 6.7%

道路、橋りょう、学校などの施設の新増設を行う建設事業のための経費です。

■繰出金 11.2%

会計間ではかの会計へ支出する

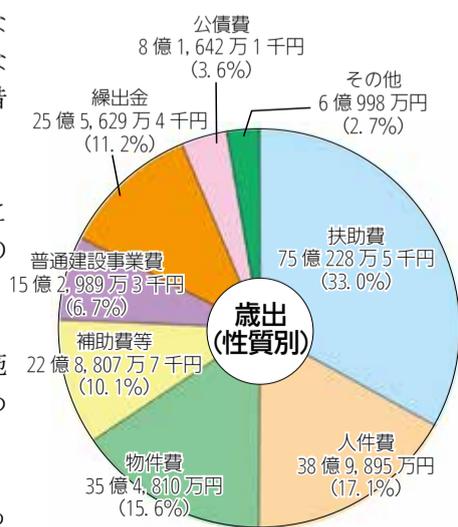
経費です。一般会計から国民健康保険事業などの特別会計へ繰り出しを行っています。

■公債費 3.6%

市債の元金・利子を償還するための経費です。

■その他 2.7%

ほかに維持補修費、積立金、出資金・貸付金などの性質に分けられます。



特別会計

特別会計の予算は表のとおりです。平成 27 年度の特別会計では、国民健康保険特別会計は共同事業拠出金などが、介護保険特別会計は地域支援事業費などが、後期高齢者医療特別会計は広域連合納付金などが、下水道事業会計は事業費などがそれぞれ増加し、特別会計の総額は 147 億 1,090 万 9 千円で、前年度に比べて 8.8% の増、11 億 9,008 万 1 千円の増額となっています。

区分	平成 27 年度 当初予算額	平成 26 年度 当初予算額	増減額	増減率
国民健康保険特別会計	80 億 4,199 万 9 千円	69 億 5,672 万 5 千円	10 億 8,527 万 4 千円	15.6%
介護保険特別会計	38 億 8,708 万 1 千円	38 億 1,714 万 5 千円	6,993 万 6 千円	1.8%
後期高齢者医療特別会計	10 億 6,118 万 1 千円	10 億 3,481 万 5 千円	2,636 万 6 千円	2.5%
下水道事業会計	17 億 2,064 万 8 千円	17 億 1,214 万 3 千円	850 万 5 千円	0.5%
合計	147 億 1,090 万 9 千円	135 億 2,082 万 8 千円	11 億 9,008 万 1 千円	8.8%

主な一部事務組合への負担金

複数の自治体で共通する事務を共同処理するために一部事務組合を設立しています。

今年度の負担金の予算額は次のとおりです。

区分	当初予算額
瑞穂斎場組合	5,289 万 3 千円
福生病院組合	5 億 4,975 万 2 千円
西多摩衛生組合	3 億 3,450 万 7 千円
東京たま広域資源循環組合	1 億 4,427 万 7 千円
合計	10 億 8,142 万 9 千円

【子どもの交通事故に気をつけましょう】小学校低学年の児童は交通ルールの習得が未熟です。新学期で、行動範囲が広がり道路を利用する機会が増えます。子どもの急な飛び出しなどに注意して運転しましょう。事故にあわないよう家庭内で話をしましょう。【問合せ】安全安心まちづくり課地域安全係 ☎ 551・1691

防災無線の放送内容が電話で確認できます。【専用電話番号】 ☎ 539・2061 または ☎ 539・2062